

高知県の外来植物 防除活動ボランティア を募集します!

防除活動
ご協力の
おねがい

外来植物ってなんだ?

人間の活動によって、ほかの地域からもちこまれた植物を「外来植物」、その場所にもともといたものを「在来植物」といいます。外来植物には、野菜や果物、家畜の餌や花壇に生えている園芸植物など、私たちの生活に役に立つものもたくさんあります。しかし、なかには、もともとその地域にあった自然を乱したり、花粉症の原因になってしまったり、農業へ被害を及ぼしているものがあります。

なぜ防除活動をするの?

牧野植物園では、2016年7月から高知県の外来植物調査を開始しました。これまでにのべ2,657名の市民の方々が調査に参加し、8,919件の外来植物の資料が収集されました。特定外来生物オオキンケイギクが、全市町村から採集されるなど現状を把握することができました。当園では、調査だけではなく県や市町村と連携した防除活動を市民協働で行うことで、地域の変化に気づき、外来植物に対する関心を高め、生物多様性をみんなで守っていく機会にしたいと考えています。



法による規制

外来生物のなかでも、定着すると周辺の生態系に重大な影響を及ぼすものが、特定外来生物に指定されています。特定外来生物とは、外来生物法により指定されている生物のことで、栽培や運搬、販売などが原則禁止されています。違反内容によって懲役3年以下もしくは300万円以下の罰金など重い罰則が課せられます。特定外来生物は、場合によっては取り返しのつかないような事態を引き起こす可能性もあります。

例えばこんな植物が 外来植物です。

オオキンケイギク (キク科)



多年生草本で、明治中頃に観賞用として持ち込まれ、その後、緑化植物として積極的に法面緑化に用いられた植物です。道路沿いや河川堤防、人家の庭などに生育し、5~7月頃オレンジ色の花が咲きます。夏~秋にかけて結実し、種子は容易に発芽します。

ナルトサワギク (キク科)



1年生または多年生草本で、1976年に徳島県鳴門市で確認され、鳴門沢菊と名づけられました。現在では、西日本を中心に急速に分布域が拡大しています。海辺の埋立地、空地、路傍、河川敷などに生育し、1年を通じて花をつけ、タンポポのように綿毛の付いたタネを飛ばします。

オオハンゴンソウ (キク科)



高さ1~3mになる多年生草本で、明治中頃に園芸植物として渡来したとされています。肥沃で湿った土地に生育し、横走する地下茎から茎を出して群生します。国内では中部地方以北の寒冷な地域で、河川敷や湿原などに繁茂しています。7~9月頃、黄色い花をつけます。

具体的な活動については
裏面をご覧ください。

2019 外来植物防除活動

※この事業は『未来につなぐふるさとプロジェクト』より助成を受けています。

1 オオキンケイギク

5月29日(水)9:30~12:00

申し込み〆切:5月27日(月)

[場所]高知市皿ヶ峰

[集合場所]筆山第二駐車場

●13:00~観察会を実施します。希望者はお弁当をご持参ください。



2 ナルトサワギク

6月16日(日)7:00~9:00

申し込み〆切:6月10日(月)

[場所]芸西村琴ヶ浜

[集合場所]琴ヶ浜河口付近 臨時駐車場



3 オオハンゴンソウ

7月28日(日)9:30~15:00

申し込み〆切:7月12日(金)

[場所]津野町横谷森林公園天狗池

[集合場所]津野町役場西庁舎駐車場

[定員]20名(定員に達し次第〆切) ●お弁当付き



注意事項 など

- 参加される方は、ボランティア行事保険に加入しますので、必ず申し込み〆切日までに担当者までご連絡ください。
- 上記活動は全て、小雨決行・荒天中止です。
- 持ち物など/長袖・長ズボン・歩きやすく汚れてもよい靴・帽子・軍手・雨具・虫除けスプレー・根掘り(鍬やスコップなど)・飲み物・保険証(写しでも可) ※第3回オオハンゴンソウ(7/28)は長靴でご参加ください。

申し込み

- 電話、ファックスにて下記担当者にご連絡ください。
- FAXでの申し込みの際には、氏名・住所・電話番号を忘れずにご記入ください。
- ※個人情報(住所・電話番号)はボランティア行事保険に加入時に必要となります。また、中止の場合の連絡先となりますので、当日、確実に連絡のとれる電話番号をご記入ください。
- 申し込み先/高知県立牧野植物園 植物研究課 田邊

Tel 088-882-2673(標本室直通 ※土日祝を除く) Fax 088-882-8635